



通常訪問研修を終えて 高野小学校

研修主題 : 一人一人のよさを捉え、生かす評価・指導

本校では、一人一人の子供の事実から子供のよさを捉え、生かす評価・指導を目指し、授業検討や日々の互見授業でその解明を図っています。通常訪問研修で明らかになったことや課題の一部を紹介します。

<明らかになったこと>

- ・一人学習を充実させることで、一人一人への支援や考えの把握につながった。授業者が子供の考えを位置付け、話合いに生かすことで、どの子供も自信をもって発表することができた。
- ・全体での話合いでは、図や実物等を効果的に使って自分の考えを表現できる環境を整える支援を工夫する。また、自分の考えが誰と同じで、どこが違うのかを整理し自分の課題解決に生かせるような場面を工夫することも大切である。
- ・ペアやグループの話合いやICTの効果的な活用等を工夫することで、全員の考えを授業の中ですぐに共有でき、どの子もアウトプットできる授業となる。
- ・ITOを意識した授業改善のためには、子供の課題意識を高めることと、解決の方法を自ら考えたい伝えたいという内発的動機付けをいかにもたせるかが重要であり、それが子供の主体的な学びにつながる。



<残された課題>

- ・一人学習を生かして、自分たちで考えたいような授業を仕組む工夫が必要である。教師主導の授業から、子供たちが調整を図りながら学習できるように今後の校内研修を通して授業改善を図りたい。
- ・授業の中で、子供の実態に応じて学習形態を柔軟に変化させていく必要がある。そのためには、単元構想を作成する段階で、授業のねらいや評価をどう位置付けるかを想定し、授業の中で一人一人をみとることが大切である。

当日は、多くの助言の中で、高野っ子たちの姿から授業改善への方向性を示していただきました。今後の研修に生かしていきたいと思いました。

文責 教務主任 岩田 万里子

